

高知県言語聴覚士会理事会議事録

日時 2014年10月1日(水) 19:00~20:30

場所 高知県立療育福祉センター

出席: 西田 大崎 石川 川上 小松 高野 山本(光) 山本(理) 横畠 吉村 若林 矢野(書記)

【各部会より】

1. 地域福祉部

- ・会話パートナー養成講座の募集要項を10月3日の高知新聞に掲載予定。

2. 第19回高知県言語聴覚学会

- ・教育講演は臨床心理士和田寿美氏に依頼。高次脳機能障害当事者と家族支援について。
- ・会員へ案内を送付する。(学会、研修会、専門講座を同送)

3. 研修部

- ・第1回研修会の準備内容・担当について確認。
- ・PC、プロジェクターは事務局のものを持参する。

4. 教育部

- ・生涯学習プログラム基礎講座;生涯学習プログラムポイント対象研修会に申請済。案内文に研修会と同日に実施することが時間軸の流れでわかるように記載する。
 - 「言語聴覚療法の動向」(川上理事) 12:50~14:20
 - 「協会の役割と機構」(石川理事) 14:25~15:55
 - 「研究法序論」(吉村理事) 16:00~17:30
- ・専門講座;講師は中澤久夫先生。「回復期リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割」(120分)。交通機関はJR使用。チケットの手配をこちらでするか確認。11/24来高、高知市内で接待、宿泊、11/25はホテルから会場まで理事送迎、講演。帰りはJR須崎駅まで送迎。JRの時間により昼食を共にするかお弁当を渡すか検討する。

5. 災害リハへの金銭補助

- ・リハ研で講師を呼んでの災害リハの研修会を企画しているが、予算不足のため、PTOTST3士会に金額補助を依頼された。当士会としては、15,000円の補助を出すことに決定。

6. その他

- ・地域包括ケアの研修会へのST参加がないので、都合のつく人は参加を。
- ・災害リハ委員会からHUG 11月開催予定。定員30名。避難所を作るときにどうするか、ということを疑似体験する。STの視点も大事。外国人が来た場合の対応、感染症対策、通路の確保、本部をどうするか、障害を持った子供、子供を失った親、親のいない子供...など、日曜日午前中。近森リハにて。
 - 今後、会報に災害リハに関するコーナーを作り、記事を掲載していく。
- ・グリーン市民ネットワーク高知からの「被曝のリスクを考える講演会シリーズ」への後援依頼について、今回の後援は見送る。案内の配布などは協力できることを伝える。
- ・高知大学医学部主催の勉強会案内を会員に同送する。

以上

次回 平成26年11月5日(水) 19:00~、県立療育福祉センターにて。